

株主のみなさまへ

2023年12月期 中間報告書
(2023年1月1日～2023年6月30日)

証券コード:2579

平素より格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。2023年上期(2023年1月1日～6月30日)の経営概況や中期経営計画についてご報告いたします。

上期の総括

当年上期における国内清涼飲料市場は、人出回復や経済活動活性化を背景に需要の増加傾向が継続したものの、清涼飲料各社の価格改定実施による需要へのマイナス影響や前年同期の猛暑の反動等により、数量ベースで前年同期比1%程度の減少となったものとみられます。そのようななか、当社は、2023年を「利益にこだわる年」と位置づけ、収益性改善に最優先に取り組んでまいりました。収益性改善に向けた最重要施策である価格改定の実施や、適正価格での販売を重視した規律あるマーケティング活動の徹底、人出回復など需要増加の機会を捉えた新製品展開やキャンペーン実施などにより、ケース当たり納価の改善および売上収益の成長を図ってまいりました。外部環境の影響を受けコストの面では厳しい状況が継続しているものの、売上収益増加による利益貢献に加え、効率的なサプライチェーンオペレーションやさまざまな分野でのコストマネジメントの取り組みにより、事業利益の大幅改善を実現いたしました。

上期の売上収益は前年同期比7.5%増収の4,041億円となりました。また、事業利益は68億円の損失となり前年同期比115億円の改善、親会社の所有者に帰属する当期利益は39億円の損失となり前年同期比60億円の改善となりました。これまでの収益性改善に向けた活動は順調に進捗しており、引き続き通期業績予想の達成に向け、取り組みを進めてまいります。

Coca-Cola

BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.

コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社

中期経営計画の概要

このたび、2028年までの中期経営計画「Vision 2028」を発表いたしました。これまで取り組んできた変革により構築してきた成長基盤と近年の事業環境の逆風のなかで培ってきた学びをビジネスの成長に最大限活用してまいります。営業面では、利益をともなう成長を実現すべく、高付加価値製品への投資や販売チャネルごとの適切な成長戦略の実行、利益率向上に資する柔軟な価格戦略の実行、ベンディングチャネルにおける変革などに取り組んでまいります。また、サプライチェーンのさらなる効率化や、DX推進等によるオペレーションプロセスの改善などに取り組んでまいります。加えて、事業活動を通じた中長期的な企業価値向上を実現すべく、ESG経営や人的資本経営の推進にも取り組んでまいります。中期経営計画の達成に向けては、ザ コカ・コーラ カンパニーおよび日本コカ・コーラ(株)との強力な連携体制のもと、コカ・コーラシステム一体となって戦略を実行してまいります。そして、これらの取り組みにより、2024年には黒字転換を実現するとともに、年率2%から3%の売上収益成長



代表取締役社長
カリン・ドラガン



ならびに2028年の事業利益率5%以上およびROIC（投下資本利益率）5%以上を目指してまいります。2029年以降のさらなる成長を視野に入れ、今回の中期経営計画を実行してまいります。

株主還元および配当について

2023年12月期の配当につきましては、基本方針である安定配当の考えに基づき、中間配当金を1株当たり25円、期末配当金を1株当たり25円（予定）とし、年間で1株当たり50円を見込んでおります。今後も安定配当を継続する方針であり、株主価値増大に

資する取り組みにつきましても、引き続き検討を続けてまいります。

競争環境やコストの状況など、引き続き不透明な事業環境ではありますが、収益性改善の取り組みの効果により、足元の業績は着実に回復してきております。中期経営計画の主要施策を着実に実行し、中長期の持続的な成長と株主価値の増大に向け、歩みを進めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き当社へのご理解と長きにわたるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画「Vision 2028」

2019年～2023年 厳しい事業環境においても 変革を推進

- 迅速な経営判断による未曾有の事態への対応
- 変革の推進によるコスト削減とレジリエントな事業基盤の構築
- 価格改定による収益基盤の強化
- デジタル化の推進

✓ 成長の基盤を構築

2024年～2028年 利益をとまなう成長と変化に強いコスト構造の構築

- 収益性重視の営業戦略
- ROI経営を意識した財務戦略
- サプライチェーンのさらなる効率化
- ESG経営・人的資本経営の強化
- オペレーションプロセスの最適化

- ✓ 構築した基盤をもとに成長実現
- ✓ さらなる変革の推進
- ✓ 2028年に過去最高益を実現

2029年～ 成長の加速

- WACCを上回るROIC
- 配当性向の向上を含む、さらなる株主還元策の検討
- 持続的な成長を実現する強固な経営基盤

2028年目標

売上収益	販売数量	事業利益	変革によるコスト削減	ROIC	株主還元
年率+2～3%	年率+0.5～1%	事業利益率5%以上 450～500億円	250～350億円	5%以上	安定配当に注力

※増加目標は2023年通期予想比（2023年2月発表）

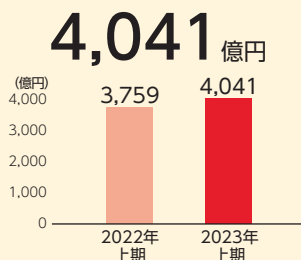
詳しくは「2024年～2028年 中期経営計画」の資料をご覧ください。

https://www.ccbj-holdings.com/pdf/irinfo/192_3.pdf

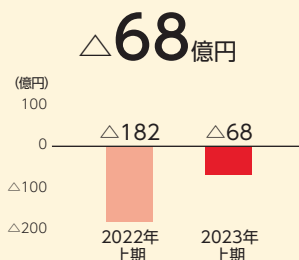


連結決算ハイライト(IFRS)

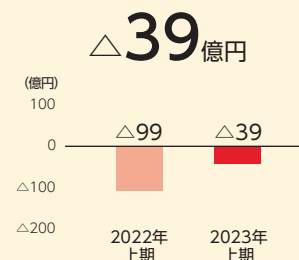
売上収益



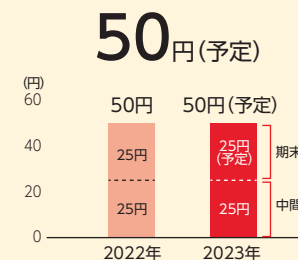
事業利益



親会社の所有者に帰属する 当期利益



1株当たり配当金



(注) 事業利益は、事業の経常的な業績をはかるための指標であり、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除するとともに、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減算したものです。

会社概要・株式情報 (2023年6月30日現在)

会社概要

■ 商号	コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社 Coca-Cola Bottlers Japan Holdings Inc.	
■ 本社所在地	東京都港区赤坂九丁目7番1号 ミッドタウン・タワー	
■ 設立	1960年12月20日	
■ 資本金	152億3千2百万円	
■ 連結従業員数	14,238名	
■ 上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 証券コード:2579	
■ 発行可能株式総数	500,000千株	
■ 発行済株式総数	206,269千株(議決権総数:1,817,166個)	
■ 株主数	76,763名(自己株式を除く議決権を有する株主数:59,909名)	
■ 1単元の株式数	100株	

取締役

代表取締役社長 カリン・ドラガン	代表取締役副社長 CFO ビヨン・イヴァル・ウルグネス	社外取締役 独立役員 和田 浩子
社外取締役 独立役員 谷村 広和	社外取締役 独立役員 行徳 セルノ	社外取締役(監査等委員) 独立役員 吉岡 浩
社外取締役(監査等委員) 独立役員 濱田 奈巳	社外取締役(監査等委員) ステイシー・アプター	社外取締役(監査等委員) サンケット・レイ

株主メモ

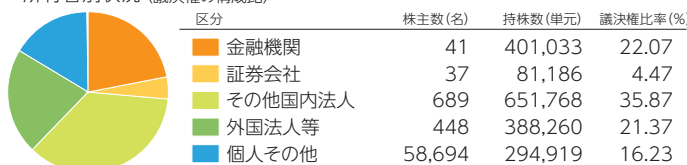
- 事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会 毎年3月開催
- 基準日 定時株主総会:毎年12月31日
期末配当金:毎年12月31日
中間配当金:毎年6月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株式の状況 (1単元:100株)

■ 大株主一覧

株主名	持株数(単元)	議決権比率(%)
日本コカ・コーラ株式会社	279,561	15.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	204,474	11.25
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	65,608	3.61
公益財団法人市村清新技術財団	52,947	2.91
薩摩酒造株式会社	47,361	2.61
株式会社千秋社	40,884	2.25
コカ・コーラ ホールディングズ・ウエストジャパン・インク	40,749	2.24
三菱重工機械システム株式会社	39,121	2.15
株式会社MCAホールディングス	34,075	1.88
JPモルガン証券株式会社	31,091	1.71

■ 所有者別状況 (議決権の構成比)



(注1) 上記の「大株主一覧」および「所有者別状況」は、当社保有の自己株式237,826単元を除いて算出・表示しています。
(注2) ザ コカ・コーラ カンパニーが日本コカ・コーラ㈱およびコカ・コーラ ホールディングズ・ウエストジャパン・インク等子会社を通じて18.56%を保有しています。

- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
- 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 公告の方法 電子公告により、当社ウェブサイトに掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。当社ウェブサイト(電子公告):
https://www.ccbj-holdings.com/corporate/public_notice/

詳しくは当社ウェブサイトの「株式に関するお手続き」をご覧ください。 <https://www.ccbj-holdings.com/ir/stockholder/procedure.php>



IRサイトのご紹介

株主・投資家のみなさまへのビデオメッセージ、決算短信や有価証券報告書等の開示資料、統合報告書等のIRコミュニケーションツール、決算説明会のプレゼンテーション(資料およびウェブキャストアーカイブ)等、豊富なIR情報を掲載しています。また、メーリングリストにご登録いただいた方へ、決算発表やニュースリリースなどをタイムリーにお知らせしています。ぜひご覧ください。

詳しくは当社ウェブサイトの「IR・投資家情報」をご覧ください。

<https://www.ccbj-holdings.com/ir/>



ハッピーなひとときを、
ボトルから。
We bottle happy moments.

Coca-Cola
BOTTLETS JAPAN HOLDINGS INC.

コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社
〒107-6211 東京都港区赤坂九丁目7番1号 ミッドタウン・タワー

UD
FONT

新製品・キャンペーンの紹介

「コカ・コーラ」サマーキャンペーン ～「Coke STUDIO」で最高の音楽体験を楽しもう～

- ▶体験型音楽プラットフォーム「Coke STUDIO」を通じ、夏を盛り上げるさまざまなキャンペーンを実施。
- ▶「Coke STUDIO」のロゴが入った「コカ・コーラ」を発売。対象製品を購入して応募すると、曜日が変わる「コカ・コーラ」限定デザインの夏グッズやLINEポイントが当たったり、特別ライブの応募権などが獲得できたりするプロモーションを実施。



「ジョージア」史上最大規模のブランド刷新 ～新ジョージアはじまる～

- ▶RTD*コーヒー市場のさらなる活性化を目指し、新たなブランド戦略のもと2009年以来、14年ぶりにブランドロゴを刷新。
- ▶「毎日って、けっこうドラマだ。」をテーマに、「ジョージア」オリジナルの体験型コンテンツの提供やさまざまなキャンペーンを実施。
- ▶この機会に合わせ、味わい、香りをさらに進化させたPETボトルの新製品としてTHEシリーズ4製品を発売しました。

*Ready to Drinkの略で、容器入り飲料のこと。

新ジョージア、はじまる。



「綾鷹」×「鬼滅の刃」コラボキャンペーン

- ▶アニメ「鬼滅の刃」とコラボレーションし、限定のデザインボトルを発売。
- ▶「鬼滅の刃」オリジナルグッズやデザインボトルセットが当たるキャンペーンの実施や、「鬼滅の刃」のキャラクターが「綾鷹」の魅力語るオリジナルオーディオコンテンツを展開するなどブランド活性化に努めました。



常識を覆す新しい水分補給飲料 「アクエリアス NEWATER(ニューウォーター)」

4/17~

- ▶糖の代わりにアミノ酸を使用する独自技術を開発。これにより、糖質とカロリーをゼロに抑えながら、水より優れた水分補給*が可能に。
- ▶甘さ控えめのクリアレモンの爽やかな風味が特長。
- ▶「アクエリアス」全体では、水分補給を訴求した売場づくり等を実施し、販売強化に努めました。

*適度なアミノ酸*とミネラル**を含むため。発汗時において。
*アラニン、グリシン。
**ナトリウム。



「ジャックダニエル&コカ・コーラ」 ～「コカ・コーラ」を使った初のアルコール製品～

4/10~

- ▶「コカ・コーラ」の爽やかな味わいと「ジャックダニエル」のテネシーウイスキーの豊かな風味が絶妙なバランスで楽しめる製品。アメリカを代表する2大ブランドの「カンペキな味わい」が実現。
- ▶発売直後には、本製品の味わいと世界観を体験できる「ジャックコーク バー」を渋谷で期間限定開催し、認知度向上に努めました。



水平リサイクル「ボトルtoボトル」の推進

当社はさまざまな地域社会やパートナー企業のみならずと連携し、「ボトルtoボトル」の取り組みを推進しています。使用済みPETボトルを回収し、新たなPETボトルとして再生する枠組みを構築しています。

✓ 埼玉スタジアム2002で

サーキュラーエコノミー※実証実験を開始

※資源を循環させる経済システムのこと。

詳しくは
こちら >



✓ (株)スギ薬局と協業し「ボトルtoボトル」の 取り組みを開始

詳しくは
こちら >



完全循環型PETボトル製品

「一(はじめ) ジャスミン茶 一日一本」を発売

(株)セブン&アイ・ホールディングスとの共同企画製品として、完全循環型PETボトルを使用した「一(はじめ)」シリーズを展開しており、今年4月に新たに「一(はじめ) ジャスミン茶 一日一本」を発売しました。この完全循環型PETボトルを採用することで、1本当たりのCO₂排出量を約60%削減※することが可能となります。

※原料採掘からプリフォーム(PETボトルの原型となる中間製品)製造の工程における削減率。一般的な石油由来のPET素材から100%リサイクルPET素材に切り替えた場合。日本コカ・コーラ(株)調べ。

詳しくは
こちら >



(株)ファミリーマートとSDGs推進において 協業を開始

当社は、同社との連携によりSDGs達成に向けて、さまざまな取り組みを進めています。具体的には、両社の社員が講師となり、「コンビニエンスストア」と「飲料」を切り口とした環境問題に関する出前授業を小学生向けに実施しました。LGBTQの理解促進を目的としたイベントなども開催しています。



法人向け健康経営支援プログラム 「ウェルネスプログラム」の提供開始

当社の自動販売機を設置いただいているお得意さまに対して、コカ・コーラ公式アプリ「Coke ON」とヘルスケアアプリ「あすけん」が連動したプログラムを提供しています。健康関連のチャレンジを達成した方にドリンクチケットを配布するなど、健康経営推進に活用いただいています。



Coca-Cola BOTTLERS JAPAN INC.
WELLNESS
program

自動販売機

Coke ON®

あすけん

詳しくは
こちら >



環境省より環境先進企業として「エコ・ファースト企業」に認定

「エコ・ファースト企業」は、環境分野において「先進的、独自のかつ業界をリードする事業活動」を行っている企業であることを環境大臣が認定する制度です。当社は、引き続き「ボトルtoボトル」の推進や水資源保護など環境保全活動に関する取り組みを推進してまいります。



初の統合報告書を発行

これまで発行していた「アニュアルレビュー」と「CSVレポート」を統合し、「統合報告書2022」を発行しました。マテリアリティ（重要課題）や価値創造プロセス、持続的な成長に向けた戦略に加え、代表取締役社長やチーフオフィサーをはじめとする各部門の責任者からのメッセージを掲載しています。

詳しくは
こちら

工場見学のご案内

多くのみなさまにコカ・コーラやコカ・コーラ ボトラーズジャパンについて知っていただくために、工場見学を無料で実施しています。

工場見学の詳細はこちら

<https://www.ccbji.co.jp/plant/>

ご予約、お問い合わせは各工場の見学受付までご連絡ください。



広島工場 見学施設がオープン!

2020年6月に稼働開始した広島工場で、工場見学の受け入れを開始しました。従来の「製造工程を見る」に加え、「製造工程を体感」できるコンテンツをお楽しみいただけます。



広島工場の工場見学ご予約・
お問い合わせはこちら

<https://www.ccbji.co.jp/plant/hiroshima.php>



News Calendar

1月

- ▶ 神奈川県座間市とPETボルの水平リサイクル「ボトルtoボトル」を開始
- ▶ 滋賀県守山市および神奈川県海老名市と「ペットボトル資源循環リサイクル」に関する事業連携協定をそれぞれ締結

2月

- ▶ 缶・大型PETボトル製品等の価格改定を発表（2023年5月1日出荷分より実施）
- ▶ 静岡県沼津市と「ペットボトル資源循環リサイクル」に関する事業連携協定を締結
- ▶ ㈱ファミリーマートとSDGs推進で協業を開始、2社連携による出前授業を実施

3月

- ▶ 「フードバンクしまね あったか元気便応援自動販売機」を展開
- ▶ 「からだリフレッシュ茶W」発売
- ▶ CDPの2022年度「サプライヤー・エンゲージメント評価」において、最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定
- ▶ 兵庫県西宮市と「ペットボトル資源循環リサイクル」に関する事業連携協定を締結

4月

- ▶ 海老名工場に新アセティック製造ラインを導入
- ▶ 「綾鷹カフェ 急須珈琲 ラテ」「綾鷹カフェ 急須珈琲 ブラック」発売
- ▶ ㈱スギ薬局と協業し「ボトルtoボトル」を開始
- ▶ 環境省より「エコ・ファースト企業」に認定
- ▶ 「東京レインボープライド2023」など全国のLGBTQ関連イベントに協賛
- ▶ 「ジャックダニエル&コカ・コーラ」発売
- ▶ 「一（はじめ）ジャスミン茶 一日本」全国セブン&アイグループ各店にて発売
- ▶ 埼玉県、浦和レッズなどと連携し、埼玉スタジアム2002でサーキュラーエコノミー実証実験を開始

4月

- ▶ カーボンニュートラル社会の実現に向けたエネルギーマネジメントシステムの構築・社会実装に参画
- ▶ ㈱ファミリーマートとLGBTQの理解促進のための社内啓発イベント実施
- ▶ 米国国務省と大阪・関西万博アメリカ合衆国パビリオンの成功に向けた「包括連携協定」を締結
- ▶ 「アクエリアス NEWATER（ニューウォーター）」発売
- ▶ 「檸檬堂 すっきりレモン」「よわな檸檬堂 すっきりレモン」発売
- ▶ 「紅茶花伝 デザート とろけるピーチティー」発売

5月

- ▶ 「コスタコーヒー 抹茶エスプレッソラテ」発売
- ▶ 「ファンタ レモンプレミア」発売
- ▶ 法人向け健康経営支援プログラム「ウェルネスプログラム」を開始

6月

- ▶ 初の統合報告書として「統合報告書2022」を発行
- ▶ 自動販売機にて15種類以上のQRコード決済サービス「QR de決済」を開始
- ▶ プラスチック資源循環プロジェクト「BLUE Plastics」実証実験に参画
- ▶ 「コスタコーヒー ハニータテ」発売
- ▶ 大型PETボトル製品等の価格改定を発表（2023年10月1日出荷分より実施）

ニュースカレンダーの
詳細はこちら

